

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年12月19日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471502686		
法人名	株式会社リブネット		
事業所名	グループホームかざぐるま		
所在地	広島県福山市御幸町上岩成609-1 (電話) 084-961-1200		
自己評価作成日	令和元年11月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3471502686-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年12月12日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

入居者ひとりひとりが役割を持ち、入居者主体の生活が送れるように支援しています。入居者の生活の流れにスタッフが合わせ、家事すべてにおいては、一連の流れを大切にし、入居者とスタッフが、共同で取り組めるようにしています。いつの時でも、入居者との関わりを大切に、安心・安全に、その人らしい生活が出来るようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

「食」を中心としたやすらげる生活を目指しており、食事のメニューを考える・食材を買いに行く・調理する・片付ける等の家事を共に行い、家庭的な雰囲気を大切にしている。重度化や終末期の支援に関しては、契約時の意思確認だけではなく、利用者に対する日頃の聞き取りや、主治医との面談を通して、変化する意向を速やかに把握し支援している。個別面談等を活用し、職員の心理的な負担を軽減している。法人内の研修及び外部研修等で学んだ知識を個々の職員が活かしながら、より利用者及び家族の意向に沿った生活が営めるよう努力している。

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を各ユニットごとに良く見える掲示板に掲げ、朝ミーティングで職員間で意識づけしている主任会議にて理念をもとに月間目標を決め評価しており、達成に向けての努力が見られる。職員も入居者担当を決めており目標も立てやすく研修など、向上心に掲げている。	新人研修や個別指導を活用することで、理念の共有と職員の教育に注力している。理念を基に月間目標を決め、定期的に評価することで、思いやりとやさしさで笑顔を大切にした支援を実施している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	食材の買い物など毎日近くのスーパーへ行き、顔なじみになり、話をする機会も増えている。回覧板や運営推進会議参加者から地域行事の案内があり、小学校の運動会、敬老会などに参加している。町内会への参加など地域との関係作りにも取り組んでいる。	小学校の運動会や敬老会等の地域行事に参加し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。また、町内会の活動にも積極的に参加し、回覧板や清掃活動等を通して、地域とのつながりを大切に育んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所の案内掲示板を利用し、入居者さんの作品などを貼りだしたり各グループの掲示板にも絵や写真をかざっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は2ヶ月に一度開催され、民生委員、包括支援センター、保健福祉課の参加がある。運営推進会議は行事報告、事故報告にとどまらず、事故対策法・感染予防・消防訓練など貴重な意見交換の場になり、改善に向けて取り組まれている。家族にも議事録の送付している。家族の出席は共働き世帯が多くなかなか難しい。	民生委員・地域包括支援センターの職員・保健福祉課の職員等の参加者より頂いた意見や情報は、ミーティング等で共有し、地域連携やサービス向上のために活かしている。議事録は家族等が閲覧しやすいように郵送しており、家族会を年3回開催し、会議以外の場でも意見を頂けるように配慮している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	福山市北部支所、担当職員とは相談事、アドバイスなど、常に連絡が取れるように、顔なじみの関係が密に出来るように出向いている。又、運営推進会議には担当職員の参加もあって、お互いの関係が築けている。市や地域包括支援センターが主催している研修にも積極的に参加している。	行政への相談は専任の職員(2名)が行っており、円滑な連携が図れるように取り組んでいる。市主催のイベントや研修等に積極的に参加し、行政との協力関係を構築する為に尽力している。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎日のケアの中からミーティング、研修、勉強会などを重ね、身体拘束をしないケアを職員全員で周知に努めている。夜間の巡視を増やすことや入居者の様子を細かく観察して行くことなど工夫をし、身体拘束をしないケアに繋がっている。又、3ヶ月に一度身体拘束の検討会を開催し、記録に残している。	定期的に研修や勉強会を実施し、法人の理念の理解と実践方法について学ぶ機会を確保し、日々の業務の中でも指導を徹底している。利用者の「やすらげる生活を目指す」を大切にし、制限するのではなく自立を支援するという考え方で、日々の業務に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	月に一度虐待防止委員会を開催している。その中で、全事業所が集合し話し合いをしている。日常ケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修のなかで周知し虐待の意識を高め防止に繋がっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要とされ利用されている入居者の方はおられる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	本人の希望等について事業所で対応出来る事、出来ない事項について、必要な時に家族、本人と事業所が確認し合い、納得した上で利用してもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者の日頃の様子をくみ取れるようにしている。家族には電話や毎月担当職員が入居者担の様子を便りでお伝えしている。家族からは面会時、年2回の家族会開催時、アンケートを実施して、家族からの要望・意見を反映に繋がっている。	食事や入浴等の日常生活を通じて、利用者の意見や意向の把握に努めている。面会、電話でのモニタリング(1回/月)等を活用し、家族等から意見を積極的に聞き、課題等が明らかになった場合は、ミーティング等で検討し、運営に反映する仕組みを構築している。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全事業所集合し、管理者会議を行いました主任会議、各ユニットでのミーティングの中で意見交換や提案等と話し合う場を設けている。管理者、主任との個人面談や相談事、ストレスのないように話しやすい場を設けている。</p>	<p>個人面談や、日頃からの声掛け等で良好な関係を構築し、職員が意見や提案を言いやすい環境作りに尽力している。また、職員のストレス軽減にも配慮し、相談等があればいつでも面談できる体制を構築している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>それぞれのスタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催し勉強している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>講師派遣による研修会や勉強会、市が開催している相互研修会へ参加している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者の事前情報などで現場のスタッフとも安心して要望が言い合えるような関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれば)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供できるように、家族の思い配なことなどを話してもらえようような関係作りをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族の要望と事業所の出来る出来ないを話し合いすり合わせ、要望にこたえられないような場合は要望に沿えるようなサービスの紹介をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様主体の生活を実践する為にスタッフは入居者さんの要望をかなえる為に存在して居る事を意識した入居者さんとの関係作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所で何でもしてしまうのではなく、家族が参加出来る事には極力参加してもらいあくまでもほんにんと家族の関係を最優先にし、家族では補いきれない部分を事業所がサポートしていくように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族の協力を得て、お墓参りの外出などをしたり、受診時ドライブのかたわら行きつけの美味しいパン屋さんに行くこともある。以前からの友人の訪問や訪問美容など、馴染みの関係が途切れないよう、継続出来るよう努めている。</p>	<p>家族等の協力を得ながら、お墓参りや自宅への帰宅等、馴染みの場所との関係が途切れないように支援している。買い物やドライブ等を活用しながら、新しい馴染みの関係の構築と、以前からの馴染みの人や場所との関係が途切れないように努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う同士は日頃から談話をしたり楽しまれている。単独行動が多い方には木満がでない程度に他の方と交流できるようにスタッフが中立ちをしたりして、入居者同志が楽しみながら生活できるような関係作りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された家族の方へ手賀状やお手紙を出している。長期入院し退去となられた方へ入居者さんとお見舞いに行ったり、亡くなられた方の葬儀に参列をしている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の思いや意向を把握しやすい入浴時や食事時、何気ない会話の中からくみ取り職員間で話し合い連携を取りながら、一人ひとりにあった支援に繋げている。把握が困難な入居者にはジェスチャーを交えながら把握に努めている。	日常の会話を通して、本人の思いや意向を把握し、日誌等を活用しながら、チーム全員で情報を共有し検討している。以前の情報に関しては、家族や知人等の協力を得て把握に努めている。実現が困難な場合は、ミーティング等を活用し、利用者本位の支援ができるように検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常の会話や面会された家族の方から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	夜勤者から朝の申し送りや、ライフチャートなどでその日の生活状態を確実に把握し全スタッフが共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>3ヶ月ごとに、担当職員含め職員全員でモニタリングを行い、本人・家族の意向、意見を踏まえてチームでの介護計画書を作成している。身体状態変化があった時には、その都度介護計画の見直しを行っている。</p>	<p>日誌等の情報を活用することにより、不規則な勤務体系の中でも、職員間で課題・意見・情報を反映しやすい仕組みを構築している。その情報を基にモニタリングを実施し、本人・家族等と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>時系列に沿った生活記録(ライフチャート)を利用しこまめな記録と勤務交代時の申し送りなどで情報の共有をしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度、本人、家族、事業所で話し合い可能な限り実現できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りや、文化祭、催しなどの行事に参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者のほとんどが事業所の協力医療機関が主治医となっている。医療連携が整っていて、月に一度全体の往診、個人の往診、緊急時の往診を行っている。また、専門医受診の際は家族の協力を得ながら行っている。</p>	<p>利用者及び家族の意向を確認し、希望があれば他の医療機関を利用することも可能である。協力医療機関より、定期的に往診(内科・歯科)を受けている。専門医への受診が必要な場合は、適切な医療を受けられるように主治医と連携しながら支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力病院の看護師にいつでも相談できる体制が整っており、気になる事、些細なことでも相談にのってもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の経過を取り合い病院との関係を密にし少しでも早期に退院できるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時アセスメントを行い重度化(看取り)に関する指針で確認を行っている。看取りについて医療機関と連携を取りながら、医師、家族、関係者とカンファレンスを行い、家族と連携を密にし意思の確認を行っている。職員間で勉強会を重ね看取りについてマニュアル作成し、日頃から趣味嗜好の聴き取りをしている。	契約時に、終末期においての利用者及び家族の希望を確認している。確認後も主治医と連携し、定期的に終末期における希望を確認することで、時と共に変化する希望に対応している。新人研修や研修等を活用し、職員の教育にも尽力している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを準備している。定期的に全スタッフが救命救急講習を受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回消防署立会いのもと、4月(日中)11月(夜間)想定火災に対する訓練を行っている。地域との協力体制は得られていないが、地震水害時の避難場所、避難所の確認は認識している。備蓄に関しては現在行っていないが、用意の検討をしている。	職員の教育と地域との協力体制の構築を図るために、消防署に協力を依頼し、避難訓練を年2回の頻度で実施している。今後は、災害時に避難場所としての機能を有する為に、備蓄及び受け入れ態勢の構築に向けて討議している。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者の居室に入る際、声掛けを行い一緒に部屋に入るようにしている。トイレの声掛けにしても、言葉を変えて周りにも配慮した声掛けを行っている。言葉掛けにも、入居者の目線に立ち、こえかけを行うよう意識して行っている。	利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応ができるよう、新人研修や個別指導等を活用している。日常業務の中で、利用者の誇り・生活史・経験等を尊重し、対応及び記録等に配慮しながら、本人本位の支援が実践できるよう、事業所全体で尽力している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常会話の中で入居者さんの要望を少しでも多くくみ取れるように努め本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフに対して入居者さんの希望を知ったらすぐに実行できるようにどうすれば実行できるか考えるようにという意識付けの元支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	パーマをかけたい髪を染めたい等入居者さんの希望に沿えるようにしている。またその日に着る服も入居者さんと相談して選んでいる。身につけたい物がある時には家族に連絡し協力を得ている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	昼食は平日は厨房内で作られるが、朝夕、日曜日、祭日は各ユニットで手作りしている。入居者と料理本を見てメニューを考えたり、目で見て、舌で味わってもらえるよう季節料理を組み立てている。おやつも手作りであり、お正月にはおせち料理も手作りしている。近所の回転寿司や居酒屋などの外食も楽しみとなっている。	平日の昼食以外は、各ユニットで調理している。「家庭的な雰囲気の中で仲間と一緒に」を意識し、利用者と職員と一緒に献立・買い物・準備・食事・片付けを実施している。外食に関しても、昼食だけでなく夕食も実施し、食事が楽しみなものになるよう尽力している。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握できるようにしている。食べれない時には食べれる物を少しずつでも食べてもらえるような援助をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後に声かけを行い介助が必要な方には介助している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄チェックで把握し、職員間で話し合いを行い、排泄パターンを確認している。個別に声掛けを行うことでオムツを使用するひとはほとんどおられない。オムツ→リハビリパンツ→布パンツに変えることでトイレ誘導に繋がっている。又、失禁が分かり、排泄が分かるよう実践している。</p>	<p>日誌等を活用することで、利用者の排泄パターンを把握し、なるべくオムツを使わない支援を実践している。退院時や急に体調が変化した場合も、申し送り等を活用し、早期に利用者の状態に合わせた対応を実施することで、トイレでの排泄や排泄の自立に向けて尽力している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の間隔を把握し個別の状態により医師の指導の元、下剤や浣腸の使用を行っている。予防としては水分摂取量に気をつけたり腹部マッサージ運動などを取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>各ユニットごとに浴室があり、入浴時間にこだわらず入居者それぞれの意向に合わせて実践している。入浴剤をいれることで楽しんで入浴される方や、毎日入浴される方もいる。入浴拒否の方には時間をおいたり、声かけにも工夫をし、決して無理強いはいしない支援を行っている。</p>	<p>利用者の生活のリズムや気持ちの変化を把握し、個々のタイミングと頻度に合わせて入浴の支援を実施している。また、入浴を楽しんで頂けるように、ゆず湯や入浴剤等も活用している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間、起床時に決まりではなく入居者さんのリズムで生活をされている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方箋を各入居者さんのカルテ閉じてありいつでもスタッフが確認できるようにしてある。往診受診時に聞いた注意事項に関しては往診受診ノートに記入し全スタッフが薬についての確認ができる体制になっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの好みに合わせて買い物、外食ショッピング等の趣味活動ができるようにしている。また日常の家事など手伝ってもらった場合などにはスタッフが感謝の気持ちを伝え張り合いの持てるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>気候の良い時期3～11月までは月1回の外出支援を行っている。道の駅、菊人形展、紅葉狩り、散歩など外の空気に触れる事で季節を感じて頂けるよう支援している。又、毎日の食材の買い物に行くことも季節を感じてもらえる支援と考えている。</p>	<p>気候の良い時期には散歩に出かけ、買い物やドライブ等を活用しながら、地域の住民との交流を大切にしている。行事・外食等の外出支援だけでなく、小学校や地域の行事にも積極的に参加し、家族等の協力を得ながら、外出支援を継続している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>個人での金銭管理はしていない。家族の方から預かったお小遣いは各ユニットの金庫で管理しているが使いたいときにはいつでも出せるようになっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>特に制限はない。入居者がかけたいときにいつでもかけれるようになっている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用の空間入居者の共同作品や写真、季節の花などがあり明るい雰囲気がある。整理整頓が行き届いており入居者が作品作りや洗濯畳などの活動する場所となっている。</p>	<p>季節を感じて頂けるように、花や飾り等を活用している。居心地の良い空間を維持するために、掃除を徹底し清潔な空間を維持している。介護計画に利用者個人の役割を明記し、居心地の良い共有空間を、利用者と職員が一緒につくることができるように、配慮しながら支援している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングの中のさまざまな場所にテーブルやソファがあり好きな場所で過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>事業所で設置しているベッド、エアコン、カーテン以外は入居者個人の自宅からの調度品である。居室にはお孫さんの写真や仏壇を持ち込まれている入居者も数名おられ、自宅で過ごしているような気分でその人らしく生活されている。</p>	<p>エアコン・ベッド・グローゼットは備え付けで、その他の家具や調度品は持ち込み自由である。室温は、各居室に設置してある温度計を使用し管理している。タンス・写真等の大切にしていたものを活かしながら、利用者にとって居心地の良い居室になるように努力している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>各入居者さんの個室、お風呂トイレなどわかりやすいように工夫している。</p>		

V アウトカム項目(こもれび) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念をユニットに貼り、スタッフ皆が見えるようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所のスーパーに食材を入居者さんと一緒に買出しに行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所の案内掲示板を利用し、入居者さんの作品などを貼りだしたり各グループの掲示板にも絵や写真をかざっている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回必ず開催し、ケアマネジャー、主任が参加し参加された方々で意見交換をし、グループ内で取り上げ実践している。またその時期ごとに勉強会なども行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	日頃の不明な点などは、市担当者へ相談し連携をとっている。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日頃のケアの中で主任中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し拘束をしないケアを徹している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	月に1回虐待防止委員会を開催している。その中で全事業所が集合し話し合いをしている。日常ケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修の中で周知し虐待の意識を高め防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要とされ利用されている入居者の方はおられる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	本人の希望等について事業所で対応出来る事、出来ない事項について、必要な時に家族、本人と事業所が確認し合い、納得した上で利用してもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年に2回(春、秋)家族会を開催し、その中で家族と話し合いの場を設けており、家族へのアンケートを実践している。面会時には日頃の生活の様子等をお伝えしている。サービス担当者会議では家族さんからのご要望を知れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全事業所集合し、管理者会議を行いました主任会議、各ユニットでのミーティングの中で意見交換や提案等と話し合う場を設けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>それぞれのスタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>講師派遣による研修会や勉強会、包括支援センターが開催している相互研修会へ参加している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者の事前情報などで現場のスタッフとも安心して要望が言い合えるような関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供できるように、家族の思い心配なことなどを話してもらえようような関係作りをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>担当者会議時に本人、家族の要望と事業所の出来る出来ないを話し合いすり合わせ、要望にこたえられないような場合は要望に沿えるようなサービスの紹介をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様主体の生活を実践する為にスタッフは入居者さんの要望をかなえる為に存在して居る事を意識した入居者さんとの関係作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所で何でもしてしまうのではなく、家族が参加出来る事には極力参加してもらいあくまでもほんにんと家族の関係を最優先にし、家族では補いきれない部分を事業所がサポートしていくように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>お墓参りの外出や外泊などを家族の協力を得ながら行っている。また入居者さんの行きつけのショップに行ったり馴染みの美容室の訪問などしていただき関係を継続している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う同士は日頃から談話をしたり楽しまれている。単独行動が多い方には木満がでない程度に他の方と交流できるようにスタッフが中立ちをしたりして、入居者同志が楽しみながら生活できるような関係作りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された家族の方へ手賀状やお手紙を出している。長期入院し退去となられた方へ入居者さんとお見舞いに行ったり、亡くなられた方の葬儀に参列をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	食事や入浴で接することの多い際、会話から入居者の意向や希望を聞き把握している。意思疎通の難しい入居者には日常生活での表情、仕草及び入居開始時の情報把握に努め全スタッフが情報を共有し入居者本位の支換の検討に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常の会話や面会された家族の方から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	夜勤者から朝の申し送りや、ライフチャートなどでその日の生活状態を確実に把握し全スタッフが共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	入居者などの意向を踏まえた計画を計画担当者が作成し、関係者全員で計画に沿ったサービスが提供できるようにしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	時系列に沿った生活記録(ライフチャート)を利用しこまめな記録と勤務交代時の申し送りなどで情報の共有をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その都度、本人、家族、事業所で話し合い可能な限り実現できるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の行事(祭り、文化祭等)に参加している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力医が定期的に往診しており、入居者、家族希望で馴染みのかかりつけ医を選ぶこともできる。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力病院の看護師にいつでも相談できる体制が整っており、気になる事、些細なことでも相談にのってもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の経過を取り合い病院との関係を密にし少しでも早期に退院できるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	できるだけ早期から話し合いの機会を作り、方針の統一を図りながら事業所が対応しうる最大の支援方法を踏まえてチームで取り組んでいる。入居者や家族のニーズをくみ取りながら体制を整えていく努力もしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを準備している。定期的に全スタッフが救命救急講習を受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得ながら火災、地震、水害など各災害に備え昼、夜いつでも入居者が安全に避難できるよう年2回避難訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	居室への入室の同意を得たり、入居者の呼称、声かけトイレ誘導など日頃の支援の中で一人ひとりを尊重しプライバシーに配慮するようスタッフで意識し対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常会話の中で入居者さんの要望を少しでも多くくみ取れるように努め本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフが入居者さんの思いを知った時点ですぐに実行できるようにどうすれば実現可能か考えるようにという意識付けの支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	パーマをかけたい髪を染めたい等入居者さんの希望に沿えるようにしている。またその日に着る服も入居者さんと相談して選んでいる。身につけたい物がある時には家族に連絡し協力を得ている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材の購入、調理の下準備、可能な食事準備、後片付けなどを入居者の方と一緒にやっている。また入居者さんの希望するメニューを取り入れたり外食に出かけるなど楽しい食事になるよう工夫し支援している。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握できるようにしている。食べれない時には食べれる物を少しずつでも食べてもらえるような援助をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後に声かけを行い介助が必要な方には介助している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>入居者一人ひとりの自尊心に配慮し排泄習慣、排泄チェック入居者の表情から個別の状態に応じた排泄支援をしており自立につなげている。またおむつからリハパンへとおむつかはずしも実行している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の間隔を把握し個別の状態により医師の指導の元、下剤や浣腸の使用を行っている。予防としては水分摂取量に気をつけたり腹部マッサージ運動などを取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者一人ひとりの習慣や希望を把握しそれを活かしながら本人と家族の安心と満足スムーズで安全な入浴、体調の改善、入浴面での本人の力の発揮などにつなげている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間、起床時に決まりではなく入居者さんのリズムで生活をされている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方箋を各入居者さんのカルテ閉じてありいつでもスタッフが確認できるようにしてある。往診受診時に聞いた注意事項に関しては往診受診ノートに記入し全スタッフが薬についての確認ができる体制になっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>定期的に外食の企画を立案し買い物、外食等の趣味活動ができるようにしている。日常の家事など手伝ってもらった場合などにはスタッフが感謝の気持ちを伝え張り合いの持てるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>入居者の希望に応じて散歩、買い物、外食に出かけたり通院時を利用したドライブや馴染みのパン屋さんなどできるだけ実行できるよう支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>個人での金銭管理はしていない。家族の方から預かったお小遣いは各ユニットの金庫で管理しているが使いたいときにはいつでも出せるようになっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>特に制限はない。入居者がかけたいときにいつでもかけられるようになっている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用の空間入居者の共同作品や写真、季節の花などがあり明るい雰囲気がある。整理整頓が行き届いており入居者が作品作りや洗濯畳などの活動する場所となっている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングの中のさまざまな場所にテーブルやソファがあり好きな場所で過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には馴染みのものを持ち込んだり仏壇を置かれる方もおられる。入居者の作品、季節の花など思い出の物でその人らしく暮らせる部屋となっている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>各入居者さんの個室、お風呂トイレなどわかりやすいように工夫している。</p>		

V アウトカム項目(せせらぎ) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を事務所に貼り、スタッフ皆がいつでも見えるようにしている。年間目標を掲げて目標が達成できるように意識している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所のスーパー（ハローズ等）へ、食材を買いに行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	外に出る機会を設けて、認知症の方でも色々なことが出来るということを理解してもらいたいと思うが、今は出来ていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、開催できるように努めている。管理者、主任が参加し、来られた方の意見や感想を聞き、ユニット内での取り組みに活かせるようにしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	日頃の不明な点などは、市担当者へ相談し連携をとっている。		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日常のケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、拘束をしないケアに徹している。どのようなことが身体拘束になるのかをスタッフに周知する必要がある。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	日常のケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、虐待に対する意識を高め防止に努めている。主任は、不適切なケアに繋がるような行為があった時は、注意を促している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	本人の希望、家族の希望等について、事業所では対応出来る事、出来ない事等について契約時に限らず、必要な時に家族、本人と事業所が確認し合い、納得した上で利用してもらっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事を契約時に限らず、必要なときに家族、本人と事業所が確認し合い納得した上で利用してもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年2回(春・冬)に家族会を開催し、その中で家族との話し合いの場を設けており、家族へのアンケートを実践している。面会時には日頃の様子を話したり、サービス担当者会議では家族からのご要望を知れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	主任会議、各ユニットでのミーティングの中で意見や提案等を話し合う場を設けている。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	スタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催し勉強している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	今は、できていない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入居前の事前訪問などで、現場スタッフも安心して要望が言えるような関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供できるように家族の思い、心配ごとなどを話してもらえようような関係作りをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事をすり合わせ、要望に答えられない場合には要望に沿えるようなサービスを紹介している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者さん主体の生活を実践していく為にスタッフは入居者さんの要望を叶える為に存在していることを意識し、入居者さんと暮らしを共にする関係作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所がすべてしてしまうのではなく、家族が参加出来る時には参加してもらい本人と家族の関係を最優先にし、家族では補いきれない部分を事業所がサポートするように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>自宅や地域の祭りや花見などの地域行事に参加したり、帰宅したい時には帰宅出来るようにして家族の都合がつけば外泊できるようにしている。又、事業所に家族が宿泊されたり、電話などを使い関係が途切れないように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う同士で好きにしてもらっている。単独での行動が多い方には不満が出ない程度に他の方と交流が出来るようにスタッフが仲立ちしたりし、入居者さん同士が楽しみながら生活できるようにユニットに関係なく交流できるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	長期入院の為退去した方へ入居者さんと一緒にお見舞いに行ったり、亡くなられた方への葬儀に参列している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの要望を把握し、どうしたら実践できるかをいつも考え実行している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常での本人の会話、面会時の家族との会話やサービス担当者会議で情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ライフチャートや申し送り等で全スタッフが情報を共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ライフチャートや申し送り等で全スタッフが情報を共有できるようにしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ミーティングで話し合ったり、ライフチャートを利用しこまめな記録と勤務交代時の申し送り等で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度、本人、家族、事業所で話し合い、可能な限り実現できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りや催し物の行事へ参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>何かあればいつでも相談受診できる体制になっている。事業所の協力病院以外でも本人、家族が希望するかかりつけ医を利用している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>協力病院の看護師さんに、いつでも相談できるように体制が整っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には病院との連携を蜜にし、すこしでも早期に退院できるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>家族、医師、事業所で話し合う機会を設け、事業所でできることを本人と家族の要望をすり合わせながら最期まで生活できるように支援している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時のマニュアルを準備している。定期的にスタッフ全員救命救急講習を受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署の職員指導の下に避難訓練を定期的に行っている。災害時の地域との連携はとれていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	各ミーティング、社内研修などを利用し入居者さんの尊厳を尊重するケアの重要性話し合い、実行している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で、入居者さんの要望を少しでも多く汲み取るように努め、本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフは、入居者さんの希望が分かったら即実行できるか考えるように、意識付けの元で支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者さんと相談して、その時に着る服や選ぶようにしている。訪問美容室を利用して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を一緒に決めてから、食材の買出しへ行っている。調理時には、各入居者さんの出来るところを担当してもらい、入居者さん、スタッフが一緒にすることを大事にしている。		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握出来るようにしている。個々の状態に応じて食べれない時には食べれる物を少しずつ食べて頂くよう援助している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後に声掛けを行い介助が必要な方にはスタッフが誘導して行っている。入れ歯が合わなくなったり、口腔に異常がある方には訪問歯科にお願いし、診てもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、一人一人に合わせた援助を心掛けている。トイレに行きたいと言われたら、すぐに対応している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の間隔を把握し個々の状態により医師の指導の下、下剤や浣腸の使用行っている。予防としては、水分摂取量に気をつけたり、便秘に良い食事を考えたり、腹部マッサージ等を取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一日4人ずつ、午前と午後に分けて入ってもらっている。一週間に2回は必ず、入れるようにしている。職員の都合になっている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>就寝時間、起床時間は特に決ま りはないが、入居者さんのリズ ムで生活して頂いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>処方箋説明書を各入居者さんの カルテに閉じていつでもスタッ フが確認できるようにしている。 往診、受診時に聞いた注意事 項に関しては、申し送りノート に記入するようになっており、 全スタッフが薬についての確認 が出来る体制になっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの好みに合わせ買 い物、外出、趣味活動ができる ように心がけている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出 かけられるように支援してい る。</p>	<p>一人ひとりの希望、要望が分 かったら即実行出来るように スタッフに意識付けをしている。 家族、スタッフとの外食、お墓 参り等やりたいことを実現で きるように努めている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように 支援している。</p>	<p>各個人での金銭管理はしてお らず、各ユニットの事務所に金 庫を設け管理しているが、使 いたい時に使えるようにしてい る。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	好きな時に電話をしたり、年賀状を書いたりしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花を飾ったり季節ごとにユニット内の飾りを変えたりと季節感が味わえるようにしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングの中の様々な場所にテーブルやソファがあり、好きな時に好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具等を持ち込んでもらっている。家族の写真や自分で作った作品等を飾っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各入居者さんの個室、お風呂、トイレ等わかりやすいように表示している。ご自分の部屋が分からなくなる方には、ドアに大きく名前を書いて分かるようにしている。		

V アウトカム項目(かがやき) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかざぐるま

作成日 令和2年2月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	大災や地震・水害等の災害時に, 昼夜を問わず, 利用者が避難できる方法を, 全職員が身につけているが, 水や食品の準備が出来ていない。	備蓄品の準備。	入居者27名全員の食事形態を把握し, 調理道具等と一緒に準備する。 賞味期限のチェック。	3ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。